

「香りのある心地よい暮らし」を創造し、癒しの空間を提供する

はるかどう
晴香堂株式会社 奈良県磯城郡三宅町

晴香堂株式会社は、2020年に創業50周年を迎えた芳香剤・消臭剤・カーケア用品の老舗メーカー。自動車用の芳香剤の製造販売を手始めに、家庭用や雑貨用にも分野を広げて着実に事業を拡大、2017年には、今後も成長性が見込まれ、地元経済の中心的な担い手である企業として、経済産業省から「地域未来牽引企業」に選定された。

創業以来、同社は堅実経営の精神を貫き、バブルの崩壊を乗り越え、昨今のコロナ下でも堅調に業績を伸ばしている。その原動力は、世間の流行に常にアンテナを向け、消費者のニーズを巧みにつかむ商品開発力と、人々の生活を豊かにしたいという想いを胸に、日々ひたむきに努力している社員の熱意だ。

これからも「香り」を基点に、業界を牽引しながら事業領域を広げていく。

会社概要



会社名：晴香堂株式会社
所在地：奈良県磯城郡三宅町伴堂 413-2
電話：0745-43-1181
FAX：0745-43-1188
設立：1980（昭和55）年
代表者：代表取締役 岡本 光晴
資本金：1,000万円
従業員：225名
事業内容：自動車用芳香剤・消臭剤、ケミカル用品、小物用品、室内用芳香剤・消臭剤の企画開発および製造・販売
URL：<https://www.harukado.co.jp/>



同社の本社

高い品質と信頼で、香りのある暮らしを提供する

1970年に創業した晴香堂株式会社は、磯城郡三宅町に本社を置く芳香剤・消臭剤・カーケア用品の老舗メーカー。自動車用芳香剤・消臭剤と洗車用品の「^{カーオール}CARALL」、家庭用芳香剤・消臭剤を扱う「^{ジュピア}Jupia」、雑貨としてインテリア性を高めた芳香剤を扱う「^{ハルカドウ}HARUKADO」、ドイツ社製カーケア用品の「^{ソナックス}SONAX」の、4つの主力ブランドを展開している。中でも人気の「^{ハルカドウ}HARUKADO」は、お洒落でインテリア性の高い商品がラインナップされている。天然精油を用いた商品は爽やかな香りで非常に評判が良く、販売も好調である。



「^{ジュピア}Jupia」「^{ハルカドウ}HARUKADO」の商品ラインナップ

自然な香りが広がる「アロマスト」シリーズ（左）天然精油100%で消臭成分が配合された「木と果」シリーズ（右）

同社のルーツは、現社長 光晴氏の実父 慶治氏（以下「先代」）が1957年に創業した「岡本農園」にさかのぼる。種苗の生産から始め、稲作も手掛けたが、農業主体では十分に収益を上げるのが難しく、樹脂製ボタンの製造、プラスチック日用品、化粧品容器および電気器具の組立てなどを手がけながら、商号を変更していった。1984年には本社新社屋と第一工場が完成し、社名を「オカモト産業株式会社」に変更し、同時に自動車用芳香剤の製造販売を始めた。

2017年、社名を現在の「晴香堂株式会社」に変更、成長するにつれて名称が変わる出世魚のように、会社の発展とともに社名も変遷を遂げてきた。「この名前にたどり着くのに30年かかった」と岡本社長。“晴香（はるか）”は語感も良く、事

業の持続性への願いが込められている。

地道に事業を発展させ、「地域未来牽引企業」に選ばれる

前述のとおり、同社は1984年に自動車用芳香剤の製造販売を始めた。岡本社長曰く「先代の目の付け所が非常に良かった」。近隣では同業者がなく、それなりに自信があったとのこと。初の自社開発製品は、カーナビ用コンパスが付いたゲルタイプの芳香剤。その後は、固形や液体など様々なタイプの商品を開発して売上を伸ばしていく。1980年代中頃、当時は芳香剤の機能性が重視され、容器のデザイン性は求められていなかったが、デザインを社外のデザイナーへの委託から自社でのデザインに切り替え、お洒落なデザインで他社との差別化を図り、消費者のニーズを巧みにつかんでいった。新卒採用も毎年実施してきたことから、今では若手が中心となり、男性も女性も活躍している。常に世間の流行にアンテナを向け、新商品の開発に取り組み、販売促進のための商品の陳列棚、掲示・装飾デザインの提案も担う。

2017年12月には、今後も成長性が見込まれ、地元経済の中心的な担い手である企業として、経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定された。

商売は堅実に、目先の利益を追わず、石橋を叩いて渡る

同社が掲げる理念は「高い品質と信頼で未来を創造する」。既存事業が壁にぶつかり、事業転換の最中にあった時も「前向きに自分で何とかしようという思いがあった」と岡本社長。先代の教えである「石橋を叩いて渡る」を今も実行している。そして、「商売は堅実にいけ」「目先の利益は追うな」も常に念頭に置いている。おかげで、同社はバブルの崩壊でも打撃を受けることなく、事業の拡大に合わせ、営業所や倉庫、工場を積極的に開設していった。新型コロナウイルス感染症による影響も、ホームセンターなどが営業を続けていたのでさほど受けていない。

出荷用倉庫では、販売用商品の他、サンプル用商品も多数保管されている。出荷情報は瞬時に倉庫へ伝達されるようシステム化され、商品やサン

ブルのピッキングが効率的に行えるよう、受注の明細書は細部まで工夫されている。在庫は実に多種多様であるが、管理の工夫が随所になされている。香りを扱う商品は、実際に手にとって香りを確かめてもらおうと購買につながりやすく、サンプルの充実がカギを握っている。同社は、Instagramやツイッターによる情報発信、公式通販サイトの活用など、自社ブランドの浸透、消費者層の拡大にも積極的に取り組んでいる。



自動車用芳香剤・消臭剤や洗車用品を扱うブランド「CARALL」車内を上質な香りで満たす「エルデュラン」シリーズ（左）窓ガラスのくもりを防ぎ雨をはじく「ラクリア」シリーズ（右）

商品を育て、人を育て、会社を育てる

2017年に完成した伴堂東工場は、同社の基幹工場だ。生産ラインなどの設備は効率良く作業に取り組み仕様になっており、食堂や休憩スペースなども、社員が気持ち良く働けるよう配慮された空間づくりが施されている。ミャンマーから8人の技能実習生を受け入れており、日々モノ作りの技能習得を熱心に支援している。

これまで着実に成長を遂げてきたが、岡本社長は「苦しい時でも、一番大事なのは人を育てること」と言いきる。常に社員とコミュニケーションを図り、社員が伸び伸びと働けるよう、各自の仕事の進め方や工夫をできる限り尊重している。最も心を配るのは、社員が自信をもって売れる商品を生み出し、社員が仕事に没頭できる環境を作ることだ。同社では会社から予算・目標を指示することはなく、営業マンと取引先との信頼関係が重視されている。「取引先、支えてくれる社員、アドバイスをもらい勉強させてもらった方々。本当に今までいろいろな人との出会いに恵まれてきた。これからはしっかり恩返ししていきたい」と今後の成長を見据えている。これからも「香り」を基点に、業界を牽引しながら事業領域を広げていく。

（大橋 徹）